

日本製紙グループとSDGs

持続可能な開発とは、「将来の世代の欲求を満たしつつ、現在の世代の欲求も満足させるような開発」と定義付けられ、2015年に国連により採択されたSDGs(持続可能な開発目標)では、経済、社会、環境の側面を統合した方法で、企業を含む全ての団体・個人が行動を起こしていくことが求められています。

日本製紙グループが目指す「世界の人々の豊かな暮らしと文化の発展に貢献」という企業グループ理念は、「誰も取り残さない」とするSDGsの理念に調和します。また、「木とともに未来を拓く」というスローガンに則り、企業グループ理念における「目指す企業像」の4つの要件に関するテーマに真摯に取り組むことは、SDGsが目指す「持続可能な社会の構築」に貢献することができます。

2015 ● 国連でSDGs採択 **SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**

2016 ● 日本製紙グループ環境・社会コミュニケーション誌「紙季折々」:SDGsを特集 (Vol.24 https://www.nipponpapergroup.com/csr/Vol24_contents.pdf)

2017 ● 「CSR報告書2017」:バリューチェーンにおけるSDGsの正負の影響を開示



2018 ● 日本製紙グループ広報誌「ダイナウェブ」:「SDGsについて考えてみよう」連載 (2018年10月号～2019年10月号、計12回 <https://www.nipponpapergroup.com/csr/download/sdgs/>)

2019 ● 全社員向けe-ラーニング実施

企業グループ理念とSDGsの統合へ



持続可能な社会の構築

木とともに未来を拓く

2030 ●

2050 ●

⇒ バリューチェーンで見る 日本製紙グループとSDGs
https://www.nipponpapergroup.com/csr/NPG_SDGs_ValueChain.pdf

